

# 古河電工グループ 2023年度第3四半期決算

2024年2月8日

古河電気工業株式会社

取締役 兼 執行役員常務 財務本部長 福永 彰宏

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

## 本日のアジェンダ

### 23年度Q3決算および23年度通期予想

- 23年度Q3決算のポイント
- 23年度Q3実績-要約P/L
- 23年度Q3実績-売上高の増減要因
- 23年度Q3実績-営業利益の増減要因
- 23年度通期予想-要約P/L
- 23年度通期予想見直し（セグメント別営業利益）
- セグメント別売上高・営業利益
- 23年度Q3実績-要約B/S
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 2024年度に向けて

### Appendix

# 23年度Q3決算および23年度通期予想

---

## ■Q3累計実績は前年同期比で減収、各段階損益で減益

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY22_Q3* 累計	FY23_Q3 累計	前年比
	a	b	b-a
売上高	7,859	7,653	▲ 206
営業利益	60	▲ 6	▲ 66
経常利益	88	▲ 30	▲ 117
親会社株主に 帰属する 当期純利益	108	▲ 65	▲ 173
銅建値 平均	1,200	1,249	+49
為替 平均	136	143	+7

(前年比)

増収：電装エレクトロニクス（自動車部品・電池）  
減収：インフラ、電装エレクトロニクス（電装エレクトロニクス材料）および機能製品

増益：電装エレクトロニクス（自動車部品・電池）  
減益：インフラ、電装エレクトロニクス（電装エレクトロニクス材料）および機能製品

支払利息の増加  
為替差損

前年度特別利益：連結子会社持分売却益（108億円）等

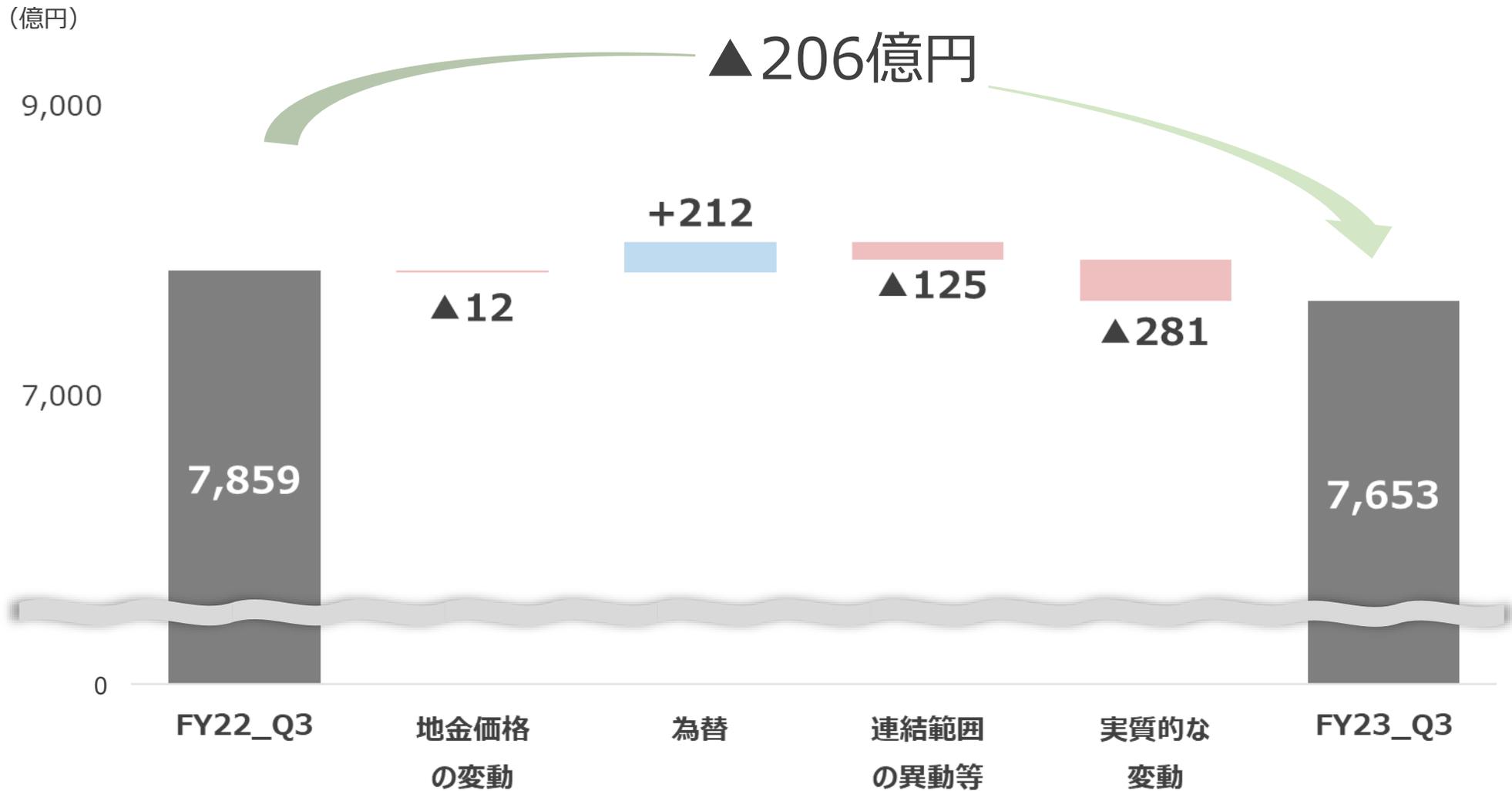
\* (株)UACJ（持分法適用関連会社）の国際財務報告基準（IFRS）任意適用開始によりFY22実績値をリステイト（Appendix参照）

# 23年度Q3実績-要約P/L

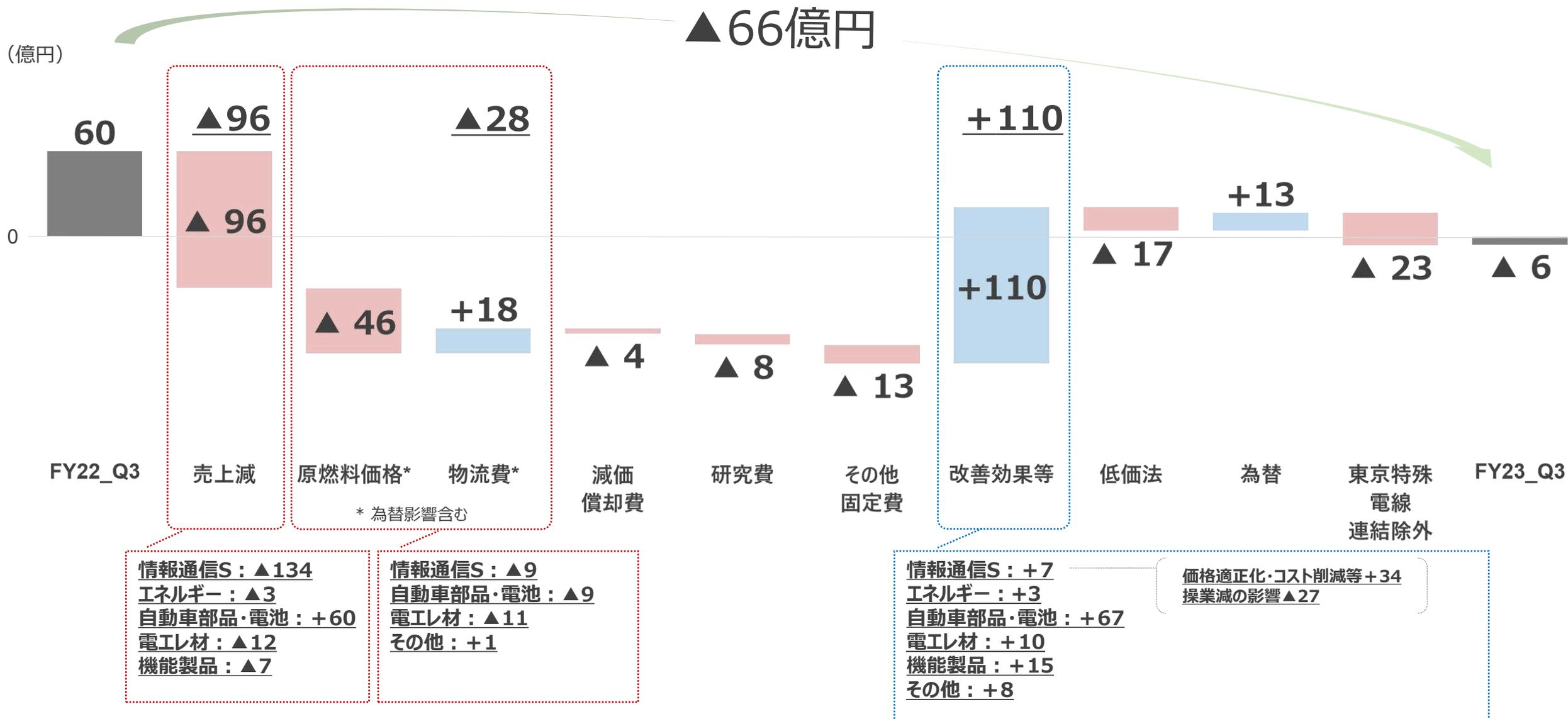
(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY22_Q3累計*		FY23_Q3累計		前年比		主な増減内訳 (Q3累計前年比)
	a	10-12 a'	b	10-12 b'	b-a	10-12 b'-a'	
売上高	7,859	2,614	7,653	2,622	▲ 206	+8	7ページ参照
営業利益	60	14	▲ 6	41	▲ 66	+26	8ページ参照
(率)	0.8%	0.6%	▲ 0.1%	1.5%	▲ 0.8	+1.0	
受取/支払利息	▲ 34	▲ 14	▲ 55	▲ 19	▲ 21	▲ 5	
持分法投資損益	31	▲ 8	36	14	+5	+22	
為替損益	12	▲ 36	▲ 10	▲ 31	▲ 22	+5	
経常利益	88	▲ 34	▲ 30	7	▲ 117	+40	
(率)	1.1%	▲ 1.3%	▲ 0.4%	0.3%	▲ 1.5	+1.5	
特別損益	119	118	27	▲ 8	▲ 92	▲ 126	・特別利益：▲ 80 (146→65)
法人税等	▲ 90	▲ 34	▲ 53	▲ 16	+37	+18	・特別損失：▲ 12 (▲ 26→▲ 38)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 9	▲ 6	▲ 10	▲ 6	▲ 2	▲ 0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	108	45	▲ 65	▲ 24	▲ 173	▲ 69	
(率)	1.4%	1.7%	▲ 0.9%	▲ 0.9%	▲ 2.2	▲ 2.6	
銅建値 平均	1,200	1,189	1,249	1,264	+49	+75	
為替 平均	136	141	143	148	+7	+6	

\* (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始によりFY22実績値をリステイト (Appendix参照)

# 23年度Q3実績-売上高の増減要因



# 23年度Q3実績-営業利益の増減要因



## ■通期見通しは据え置き

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY22 <sup>*1</sup>	FY23 前回予想 <sup>*2</sup>	FY23 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	10,663	10,400	10,400	▲ 263	—
営業利益	154	50	50	▲ 104	—
(率)	1.4%	0.5%	0.5%	▲ 1.0	—
受取/支払利息	▲52	—	—	—	—
持分法投資損益	36	—	—	—	—
為替損益	17	—	—	—	—
経常利益	173	40	40	▲ 133	—
(率)	1.6%	0.4%	0.4%	▲ 1.2	—
特別損益	107	83	99	▲ 8	+16
法人税等	▲ 103	—	—	—	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 17	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	159	0	0	▲ 159	—
(率)	1.5%	0.0%	0.0%	▲ 1.5	—
銅建値 平均	1,209	1,191	1,243	+34	+52
為替 平均	135	141	144	+8	+3

(Q4前提：1,225)  
(Q4前提：145)

<sup>\*2</sup> 2023/11/9公表

<sup>\*1</sup> (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始によりFY22実績値をリステイト (Appendix参照)

# 23年度通期予想見直し（セグメント別営業利益）

## ■前回予想に対し、情報通信ソリューションは下方に、自動車部品・電池は上方に修正

(億円)

セグメント		主な見直し		主な修正要因
		前回	今回	
インフラ	情報通信ソリューション	▲ 125	▲ 145	(－) ファイバ・ケーブル事業の北米、中南米需要の回復遅れ (+) データセンタ関連の需要回復による受注増
	エネルギーインフラ	(修正なし)		－
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	115	130	(+) 売上の回復と生産性改善 (－) 顧客の生産計画の変更 (－) 製品補償費用の追加引当
	電装エレクトロニクス材料	(修正なし)		－
機能製品		(修正なし)		－

※その他：サービス・開発等 +5（本部費の抑制等）

# セグメント別売上高・営業利益（Q3累計）

(単位：億円)	売上高			営業利益		
	FY22_Q3	FY23_Q3	前年比	FY22_Q3	FY23_Q3	前年比
	a	b	b-a	c	d	d-c
<b>インフラ</b>	<b>2,382</b>	<b>1,989</b>	<b>▲ 392</b>	<b>36</b>	<b>▲ 132</b>	<b>▲ 168</b>
情報通信ソリューション	1,592	1,229	▲ 363	29	▲ 117	▲ 147
エネルギーインフラ	790	760	▲ 30	7	▲ 14	▲ 21
<b>電装エレクトロニクス</b>	<b>4,447</b>	<b>4,747</b>	<b>+300</b>	<b>▲ 11</b>	<b>102</b>	<b>+113</b>
自動車部品・電池	2,414	2,763	+349	▲ 40	83	+123
電装エレクトロニクス材料	2,033	1,984	▲ 49	29	19	▲ 10
<b>機能製品</b>	<b>1,012</b>	<b>855</b>	<b>▲ 157</b>	<b>52</b>	<b>39</b>	<b>▲ 13</b>
<b>サービス・開発等</b>	<b>221</b>	<b>232</b>	<b>+11</b>	<b>▲ 16</b>	<b>▲ 16</b>	<b>+0</b>
連結消去	▲ 203	▲ 170	+33	▲ 0	1	+1
<b>連結合計</b>	<b>7,859</b>	<b>7,653</b>	<b>▲ 206</b>	<b>60</b>	<b>▲ 6</b>	<b>▲ 66</b>

# セグメント別売上高・営業利益（通期予想）

(単位：億円)	売上高					営業利益				
	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比
<b>インフラ</b>	<b>3,239</b>	<b>2,700</b>	<b>2,650</b>	<b>▲ 589</b>	<b>▲ 50</b>	<b>86</b>	<b>▲ 115</b>	<b>▲ 135</b>	<b>▲ 221</b>	<b>▲ 20</b>
情報通信ソリューション	2,176	1,650	1,600	▲ 576	▲ 50	65	▲ 125	▲ 145	▲ 210	▲ 20
エネルギーインフラ	1,063	1,050	1,050	▲ 13	—	21	10	10	▲ 11	—
<b>電装エレクトロニクス</b>	<b>6,103</b>	<b>6,550</b>	<b>6,600</b>	<b>+497</b>	<b>+50</b>	<b>47</b>	<b>140</b>	<b>155</b>	<b>+108</b>	<b>+15</b>
自動車部品・電池	3,374	3,950	3,950	+576	—	15	115	130	+115	+15
電装エレクトロニクス材料	2,730	2,600	2,650	▲ 80	+50	32	25	25	▲ 7	—
<b>機能製品</b>	<b>1,265</b>	<b>1,200</b>	<b>1,200</b>	<b>▲ 65</b>	<b>—</b>	<b>42</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>+8</b>	<b>—</b>
<b>サービス・開発等</b>	<b>317</b>	<b>300</b>	<b>300</b>	<b>▲ 17</b>	<b>—</b>	<b>▲ 21</b>	<b>▲ 25</b>	<b>▲ 20</b>	<b>+1</b>	<b>+5</b>
連結消去	▲ 261	▲ 350	▲ 350	▲ 89	—	1	0	0	▲ 1	—
<b>連結合計</b>	<b>10,663</b>	<b>10,400</b>	<b>10,400</b>	<b>▲ 263</b>	<b>—</b>	<b>154</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>▲ 104</b>	<b>—</b>

\* 2023/11/9公表

\* 2023/11/9公表

## 1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

## FY23\_Q3累計

## 減収減益

(単位：億円)

	FY22_Q3	FY23_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,592	1,229	▲ 363
営業利益	29	▲ 117	▲ 147

## 【増減益要因】

- (-) 北米・中南米顧客の投資抑制や在庫調整の長期化、プロジェクト遅延等
- (-) 操業量減少による生産性影響
- (-) 原燃料価格の上昇
- (+) 販売価格適正化
- (+) 固定費削減
- (+) データセンタ関連の需要回復による受注増

## FY23\_通期予想

(単位：億円)

	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	2,176	1,650	1,600	▲ 576	▲ 50
営業利益	65	▲ 125	▲ 145	▲ 210	▲ 20

\* 2023/11/9公表

## 下方修正

## 状況認識

	FY23_H1	FY23_H2
ファイバ・ケーブル	主に北米・中南米 需要の急速な減少	需要回復の遅れ
光デバイス/ 国内NW 関連製品	半導体不足による案件 の延期	Q4から緩やかに回復

## 今後の対応

- ・ 汎用品から高付加価値製品へのシフト
- ・ データセンタ・FTTX市場での拡販推進
  - ラブルリボンケーブル
  - ネットワークシステム
  - ITLA \*1・DFB\*2チップ
- ・ 需要回復を見据えたファイバ・ケーブル製造体制整備

\*1 Integrated Tunable Laser Assemble (回路付き波長可変光源)

\*2 Distributed Feedback (分布帰還型レーザ)

## 1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

## FY23\_Q3累計

## 減収減益

	FY23_Q3累計		前年比
	FY22_Q3	FY23_Q3	
	a	b	
売上高	790	760	▲ 30
営業利益	7	▲ 14	▲ 21

## 【増減益要因】

- (-) 減収および低価格適用\*  
(大型プロジェクト案件の来年度以降への延期)
- (-) 減価償却費増
- (-) 製品補償費用の発生
- (+) 機能線 (らくらくアルミケーブル®等) は好調

\*案件が下期集中のためFY23\_Q4に戻る見込み

## FY23\_通期予想

## 修正なし

	FY23_通期予想			前年比	前回予想比
	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想		
	a	b	c		
売上高	1,063	1,050	1,050	▲ 13	-
営業利益	21	10	10	▲ 11	-

\*2023/11/9公表

## 状況認識

	FY23_H1	FY23_H2
国内超高圧	需要は堅調、工事案件は下期集中	
海底線		プロジェクト遅延
中国国内	中国市場低迷	緩やかに回復
機能線	らくらくアルミケーブル®拡販/機能線は好調	

## 今後の対応

- 利益重視の受注と販売価格の適正化
  - 国内超高圧地中線
  - 再エネ関連
- ケーブル製造および工事施工能力の増強
- マーケティング活動の推進
  - らくらくアルミケーブル®
  - 送配電部品

## 2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

## FY23\_Q3累計

## 増収増益

(単位：億円)

	FY22_Q3	FY23_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	2,414	2,763	+349
営業利益	▲ 40	83	+123

## 【増減益要因】

(+) 自動車の生産台数増

(+) 改善効果

- ・顧客の生産計画安定による生産性改善やエア費削減
- ・販売価格の適正化

(-) 製品補償費用の発生

(-) 原燃料価格の上昇

(-) 減価償却費・研究開発費の増加

(-) 中国市場の日系OEM向けの低迷

## FY23\_通期予想

(単位：億円)

	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	3,374	3,950	3,950	+576	-
営業利益	15	115	130	+115	+15

\* 2023/11/9公表

## 上方修正

前回  
予想比

c-b

-

+15

## 状況認識

&gt;&gt;

FY23\_H1

FY23\_H2

&gt;&gt;

自動車  
部品顧客生産減  
計画急変動

徐々に安定

生産増加

生産性悪化

生産性改善

電池

車載、産業用ともに売上は下期集中

## 今後の対応

- ・ 電動車市場拡大に向けた製品開発、自動化対応

アルミワイヤハーネス (高電圧対応品を含む)

## 2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

## FY23\_Q3累計

## 減収減益

(単位：億円)

	FY22_Q3	FY23_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	2,033	1,984	▲ 49
営業利益	29	19	▲ 10

## 【増減益要因】

- (-) エレクトロニクス関連の需要減
- (-) 原燃料価格の上昇
- (+) 販売価格の適正化
- (+) 固定費抑制

## FY23\_通期予想

(単位：億円)

	FY22	FY23 前回予想*	FY23 予想	前年比	銅価見直し 前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	2,730	2,600	2,650	▲ 80	+50
営業利益	32	25	25	▲ 7	-

\* 2023/11/9公表

## 状況認識

&gt;&gt;

FY23\_H1

FY23\_H2

&gt;&gt;

車載・エレクトロニクス  
関連製品の需要減速

車載関連は緩やかに回復

エレクトロニクス関連の回復遅れ

## 今後の対応

- 高付加価値製品の拡充と拡販（製品ミックスの改善継続）

耐熱無酸素銅条  
(パワー半導体・放熱部品用)

リボン線・極細平角線  
(5G通信インフラ用)

高機能製品  
(抵抗材等)

- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

## FY23\_Q3累計

## 減収増益

(単位：億円)	FY22_Q3	FY22_Q3 (特殊要因除く) <sup>*1</sup>	FY23_Q3	前年比
	a	a'	b	b-a'
売上高	1,012	889	855	▲ 34
営業利益	52	28	39	+11

<sup>\*1</sup> 特殊要因 = 東京特殊電線(株)の連結除外影響

## 【増減益要因】

(+) AI・再エネ関連製品の需要好調

(-) スマートフォン・パソコン・ハードディスク  
ドライブ (HDD) 関連製品の需要減  
およびサプライチェーン上の在庫調整

## FY23\_通期予想

## 修正なし

(単位：億円)	FY22	FY22 <sup>*1</sup> (特殊要因除く)	FY23 前回予想 <sup>*2</sup>	FY23	前年比	前回 予想比
	a	a'	b	c	c-a'	c-b
売上高	1,265	1,142	1,200	1,200	+58	-
営業利益	42	18	50	50	+32	-

<sup>\*2</sup> 2023/11/9公表

## 状況認識

&gt;&gt;

FY23\_H1

FY23\_H2

&gt;&gt;

## AI関連投資が活況

スマートフォン、パソコン等の  
世界的需要減

需要低迷の長期化

サプライチェーン上の在庫調整

在庫調整、需要低迷長期化  
(HDD用アルミブランク材)

## 今後の対応

- 急拡大した生成AI関連需要の取り込み
- データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の拡販継続
  - 半導体製造用テープ
  - 高機能放熱・冷却製品
  - HDD用薄型アルミブランク材
  - 高周波基板用銅箔
- 需要増に対応する生産体制の整備

# 23年度Q3実績-要約B/S

(単位：億円)	FY22末*	FY23_Q3末	増減
	a	b	b-a
<b>流動資産</b>	<b>4,868</b>	<b>5,108</b>	<b>+240</b>
現金及び預金	474	489	+15
受取手形、売掛金及び契約資産	2,296	2,265	▲ 30
棚卸資産計	1,723	1,943	+220
<b>固定資産</b>	<b>4,466</b>	<b>4,544</b>	<b>+77</b>
有形固定資産	2,693	2,734	+41
無形固定資産	202	197	▲ 5
投資その他の資産	1,571	1,612	+41
<b>資産合計</b>	<b>9,335</b>	<b>9,652</b>	<b>+317</b>
<b>流動負債</b>	<b>3,810</b>	<b>4,009</b>	<b>+199</b>
<b>固定負債</b>	<b>2,233</b>	<b>2,338</b>	<b>+105</b>
<b>負債合計</b>	<b>6,044</b>	<b>6,347</b>	<b>+304</b>
株主資本	2,835	2,717	▲ 118
その他の包括利益累計額	182	302	+120
非支配株主持分	274	285	+11
<b>純資産合計</b>	<b>3,291</b>	<b>3,304</b>	<b>+13</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>9,335</b>	<b>9,652</b>	<b>+317</b>
有利子負債	3,238	3,529	+291
自己資本比率	32.3%	31.3%	▲ 1.0
NET D/Eレシオ	0.9	1.0	+0.1

## 棚卸資産

220億円 増加（為替・銅価の影響： +73億円を含む）

売上急増減等の外的要因

戦略在庫（半導体不足や海上輸送リードタイム長期化等の事業環境変化に備えた在庫の確保）

将来売上計上予定のプロジェクト・工事案件等

## 有形無形固定資産

36億円 増加

設備投資・減価償却費の影響： ▲6億円

為替影響： +85億円

連結除外影響： ▲30億円

## 資産合計

317億円 増加

為替影響： +292億円

新規連結の影響： +6億円

## その他包括利益

120億円 増加

為替換算調整勘定： +122億円（円安影響）

## NET有利子負債

276億円 増加（2,764億円→3,040億円）

\* (株)UACJ（持分法適用関連会社）の国際財務報告基準（IFRS）任意適用開始により、FY22実績値をリステイト（Appendix参照）

## ■通期予想は据え置き

(単位：億円)	FY22_Q3 累計	FY23_Q3 累計	前年比	FY22	*FY23 前回予想	FY23 予想	前年比	前回予想比
	a	b	b-a	c	d	e	e-c	e-d
設備投資額	260	<b>260</b>	▲0	438	430	<b>430</b>	▲8	—
減価償却費	285	<b>289</b>	+4	391	390	<b>390</b>	▲1	—
研究開発費	179	<b>186</b>	+8	233	260	<b>260</b>	+27	—

\*2023/11/9公表

## ■需要は全般的に回復基調

自然災害や地政学的リスクによるサプライチェーンの変化、顧客の計画変更を引き続き注視

## ■資本効率重視経営の取組みを継続し、着実に利益改善を進める

2024年度 営業利益イメージ

セグメント	サブセグメント	FY22 実績	FY23予想		FY24 予想	前提
			H1	H2予想		
インフラ	情報通信ソリューション	65	▲145	▲60	▲85	<ul style="list-style-type: none"> <li>北米・中南米市場は下期以降に回復（BEAD*プログラムによる需要創出含む）</li> <li>データセンタ関連需要の伸長</li> <li>高付加価値製品の増加</li> </ul> <p>* Broadband Equity Access and Deployment Program</p>
	エネルギーインフラ	21	10	▲26	36	
電装 エレクトロニクス	自動車部品・電池	15	130	23	107	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社のアルミワイヤハーネス搭載車種の増加</li> </ul>
	電装エレクトロニクス材料	32	25	6	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載関連製品は堅調</li> <li>エレクトロニクス関連製品は下期以降に回復</li> </ul>
機能製品		42	50	21	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>データセンタ関連需要の伸長（AI関連製品は好調、半導体関連製品も回復）</li> <li>再エネ関連製品は堅調</li> </ul>

ご清聴ありがとうございました。

The slogan "Bound to Innovate" in a bold, italicized, black font. A red graphic element, resembling a stylized lightning bolt or a curved arrow, starts under the word "Bound" and extends upwards and to the right, ending under the word "Innovate".

# Appendix

---

## ■ (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始

### 上記変更に伴うFY22実績のリステイト

(単位：億円)

	FY22_Q3累計		FY22	
売上高	7,859	7,859	10,663	10,663
営業利益	60	60	154	154
(率)	0.8%	0.8%	1.4%	1.4%
受取/支払利息	▲34	▲34	▲52	▲52
持分法投資損益	50	31	60	36
為替損益	12	12	17	17
経常利益	107	88	196	173
(率)	1.4%	1.1%	1.8%	1.6%
特別損益	119	119	107	107
法人税等	▲93	▲90	▲107	▲103
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲9	▲9	▲17	▲17
親会社株主に帰属する 当期純利益	124	108	179	159
(率)	1.6%	1.4%	1.7%	1.5%

## ■ (株)UACJ (持分法適用関連会社) の国際財務報告基準 (IFRS) 任意適用開始

### 上記変更に伴うFY22実績のリステイト

	FY22末	(単位: 億円) FY22末
流動資産	4,868	4,868
現金及び預金	474	474
受取手形、売掛金及び契約資産	2,296	2,296
棚卸資産計	1,723	1,723
固定資産	4,480	4,466
有形固定資産	2,693	2,693
無形固定資産	202	202
投資その他の資産	1,585	1,571
<b>資産合計</b>	<b>9,348</b>	<b>9,335</b>
流動負債	3,810	3,810
固定負債	2,228	2,233
<b>負債合計</b>	<b>6,038</b>	<b>6,044</b>
株主資本	2,806	2,835
その他の包括利益累計額	230	182
非支配株主持分	274	274
<b>純資産合計</b>	<b>3,310</b>	<b>3,291</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>9,348</b>	<b>9,335</b>
有利子負債	3,238	3,238
自己資本比率	32.5%	32.3%
NET D/Eレシオ	0.9	0.9
ROE	6.1%	5.5%

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	ファイバ・ケーブル
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		